

# 2013年 全国民主主義教育研究会・1月中間研究集会

日本の政策は誰が決めているか。社会科教育はどう真実を語るか…

2012年は、領土・外交で、日本（政府）の立場が問われ、政治の立ち位置は不透明なままです。また、「新自由主義」政策のなかで、若者の雇用や、国民生活は不安にさらされたままです。この状況に「現代社会」はどのような解決策を提示できるのか…。

全民研は、これらを教育研究実践の仮題としての取り組み、憲法の平和主義、生存権、個人の尊重を視座において研究活動をすすめています。今回、以下のような2013年1月「中間研究集会」を企画しました。ぜひ、多くの方の参加をお待ちしています。

**期 日** 2013年1月5日(土) 午後1時15分～5時

**同** 1月6日(日) 午前9時10分～12時30分

**場 所** 東京・池袋(財)としま未来文化財団

## 豊島勤労福祉会館 (裏面地図参照)

〒171-0021 豊島区西池袋2-37-4 Tel 03-3980-3131

交通 JR池袋駅・地下鉄池袋駅西口徒歩10分 メトロホリタン口より徒歩7分  
(西口は東部デパート側の出口です)

**日 程** **第1日目** (1月5日) 午後1時15分開会 5時終了

報告① 「国境問題の授業」—国益を越えて、両国にウィンウィンの関係を確立する

杉浦 真理 氏・篠原 貴明 氏 (京都・立命館宇治中高校)

報告要旨 国境問題の授業で、生徒は「A・B国の国会議員について、平和的解決を望む議員をA・B国の民衆が共同して選ぶように、インターネットで呼びかける」・「A・B国でお金と領土を交換する (あるいは同じ面積の領土) を交換する」などを述べた。こうした課題について、「孫崎 享 著『日本の領土問題』(ちくま新書)」から資料提示し、紛争解決のアイデアを考えて、新聞に投書した実践の報告。

講演① 「日本政治と外交・領土問題」

講師 孫崎 享 氏 (元外務省・国際情報局長)

1943年生まれ。1966年、東京大学法学部中退、外務省入省。駐ウズベキスタン大使、国際情報局長、駐イラン大使をへて、2009年まで防衛大学校教授。

著書 『日米同盟の正体—迷走する安全保障』『不愉快な現実—中国の大国化、

米国の戦略転換』(講談社現代新書)、『戦後史の正体(1945～2012)』(創元社)、『日本の国境問題—尖閣・竹島・北方領土』(ちくま新種)など多数。

日 程 **第2日目** (1月6日) 午前9時10分開会、12時半終了

報告② 民主主義をリードするオレゴン模擬投票を見る—アメリカ模擬選挙視察とアメリカ社会」

**杉浦 正和 氏** (千葉・芝浦工業大学柏高校)

報告③ 「自分の考えを持ち、表現する中学公民の授業」

**福岡 公俊 氏** (東京・日本学園中・高校)

講 演② 「日本型生活保障システムの崩壊と

## 新たな運動の方向性」

講 師 **後藤 道夫 氏** (都留文科大学教授)

社会哲学・現代社会論

日本の「構造改革」とその背景、および対抗構想を中心に研究し、最近は「ワーキング・プア問題、失業問題などの解決をめざし、福祉社会型の生活保障論・政策論にとりくんでいる。著書『収縮する日本型<大衆社会>—経済グローバリズムと国民の分裂』(旬報社)他、多数の論文を発表。

### 参加の申し込み案内

- 1、参加費(資料代) 2日間共通で2000円(1日のみは1500円)、学生は2日間共通で1000円。当日、受付でお支払いください。
- 2、申し込み 会場設営の関係上、できるだけ事前にお申し込みください(当日でも可)。座席総数は60席です。申し込み・問い合わせは下記までお願いします。宿泊対応はしていません。

メールアドレス [qqy222x9@happytown.ocn.ne.jp](mailto:qqy222x9@happytown.ocn.ne.jp) (安達)